

2024年5月31日

報道関係各位

GMO あおぞらネット銀行株式会社

銀行 API 利用企業分析 第3弾 各業界・分野からの銀行 API への期待が現れる結果に！ 分析結果から垣間見える銀行 API 利用が促進する日本の DX の現状

GMO あおぞらネット銀行株式会社（以下、当社）は、2019年1月に銀行 API^{(*)1}の提供を開始して以降、銀行 API をご利用いただいている企業数は右肩上がり増加しています。

このたび、当社の銀行 API をご利用いただいている企業さま 277 社を対象に特徴を分析^{(*)2}しました。その結果、2021年9月の前回^{(*)3}調査よりも、資本金1億円以上の企業さまの利用割合が13ポイント上昇しているほか、経理業務への API 活用といった業務効率化よりも、新規サービスの創出や CX（お客さま体験価値価値向上）に資するビジネスへの活用がより一層進んでいるという傾向が見られ、各業界・分野からの銀行 API への期待を感じる結果となりました。

【調査結果サマリ】

- 銀行 API 接続企業数は、前回調査時の 153 社から 277 社に増加（前回調査比 181%増加）。
- 資本金 1 億円以上の企業の割合が、前回 48 社（31%）から今回 122 社（44%）と 13 ポイント上昇。
- 設立 15 年以上の企業の割合が、前回 41 社（27%）から今回 102 社（37%）と 10 ポイント上昇。
- 銀行 API の接続理由に大きな変化は見られないが、接続企業さまのビジネスの効率化や、サービスへの組込利用の割合が微増している。

【当社考察】

- **全体考察**
業種・地域などの複数の項目において、銀行 API 利用が進んでいる結果が読み取れ、DX を加速させるパーツとして銀行 API の活用が増していることがうかがえる。
- **資本金で見る企業規模**
前回調査より、資本金額 1 億円以上の割合及び社歴 15 年以上の割合が上昇していることから、スモール&スタートアップ企業でのご利用から、事業規模が大きな企業のご利用に拡大してきており、日本における DX と銀行 API の、市場への浸透・普及が約 2 年半で進んだ結果と推察される。
- **事業内容**
クラウドファンディングを中心に不動産業界での利用が増加（9 ポイント上昇）した。
前回調査より引き続き利用が増加している金融分野も含めて、各業界・分野においてテクノロジーの活用により、新たな付加価値を生み出す XTech（クロステック）サービスにおける入出金機能に、銀行 API が利用され、それが標準化しつつあるものと推察される。
- **設立年数**
前回調査より、設立年数 5 年未満の企業の割合が大幅に減少している一方、2021 年より API 接続を継続利用いただいている先も多く全体として社歴が長い企業の割合が増加した。これらの企業さまでは資本金が増加した先も複数社あり、銀行 API の活用がお客さまのビジネス成長の一助となっていることがうかがえる。
- **従業員数**
50 名未満が圧倒的に多く（192 社/69%）、銀行 API が DX を推進し、人件費を抑えた少人数での会社運営の下支えをしているものと推察される。
- **API 接続理由**
サービスへの組込利用が増加していることから、FinTech をはじめとしたさまざまな企業さまが、API 活用により振込・入金確認等を自動化し、大量かつ即時処理を実現する新規サービスの創出や CX 向上を図られており、Embedded Finance（組込型金融/BaaS）の普及が加速していることがうかがえる。

- **所在地**

東京が圧倒的多数であることに変化はないが、前回調査時にはご利用がなかった北海道や沖縄県などの地方にも利用が拡大して、日本全体で DX が進んでいることがうかがえる。

- (*1) アプリケーション・プログラミング・インターフェースの略で、機能やデータをほかのアプリケーションから呼び出すための接続口やその仕組みを指します。当社が公開する API は、銀行と外部の事業者との間を安全にデータ連携するための仕組みです。当社の銀行 API は、「パブリックアクセス」と「プライベートアクセス」の 2 種類の接続方法をご用意しています。パブリックアクセスは、主に電子決済等代行業者が利用する、第三者に代わって銀行口座へアクセスする方法です。プライベートアクセスは、接続企業の自社における業務自動化・効率化のために、自社の口座だけにアクセスすることができる接続方法です。
- (*2) 2024 年 3 月末の「プライベートアクセス」接続中の企業 277 社を対象として分析。
- (*3) 2021 年 9 月 30 日までに当社と「銀行 API」のプライベート接続契約をしている 153 社を対象に、銀行 API を接続契約する企業の属性及び利用分析を発表 2021 年 11 月 29 日発表：<https://gmo-aozora.com/news/2021/20211129-01.html>

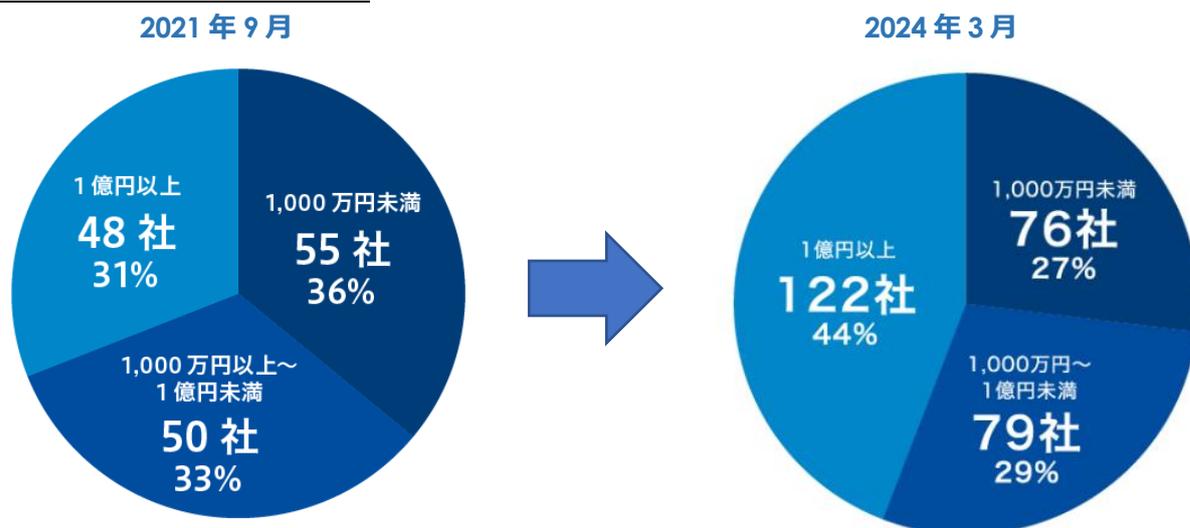
【銀行 API 接続契約企業の調査・分析概要】

対 象：2024 年 3 月 31 日までに当社と「銀行 API」のプライベート接続をしている 277 社

分析内容：銀行 API を接続契約する企業の属性及び利用分析

※調査結果のパーセンテージは、小数点以下第二位を切り捨てた数値です。合計が 100%にならない場合があります。

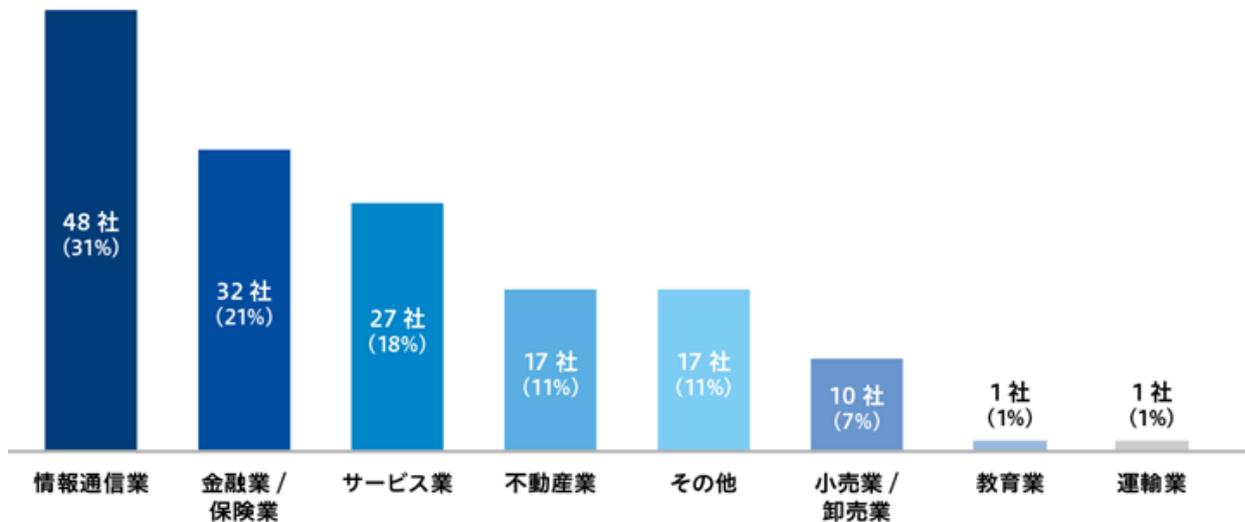
1. 接続企業の資本金でみる企業規模



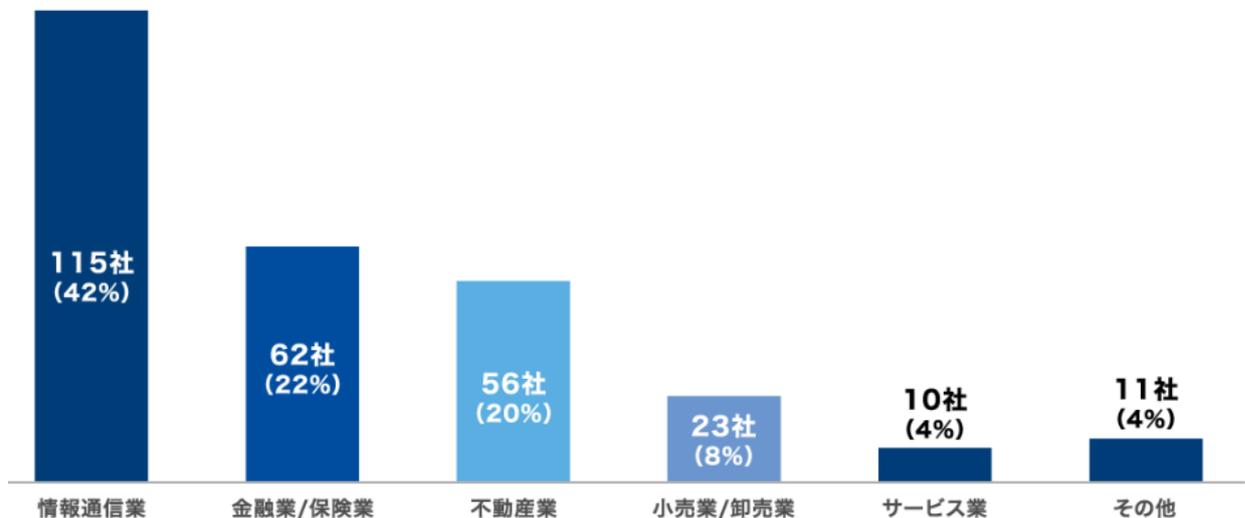
- 最も多かったのが 1 億円以上で全体の 44% (122 社) で、次いで 1,000 万～1 億円未満が 29% (79 社)、1,000 万円未満が 27% (76 社) で、資本金 1 億円以上の企業の割合が前回調査から 13 ポイント上昇するという結果となりました。

2. 接続企業の事業内容

2021年9月



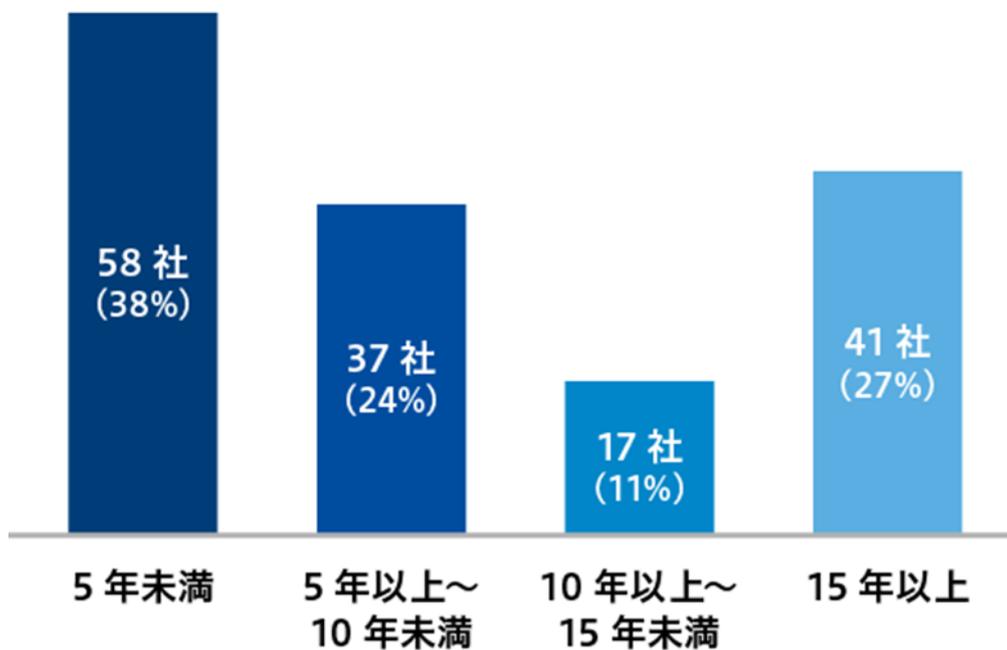
2024年3月



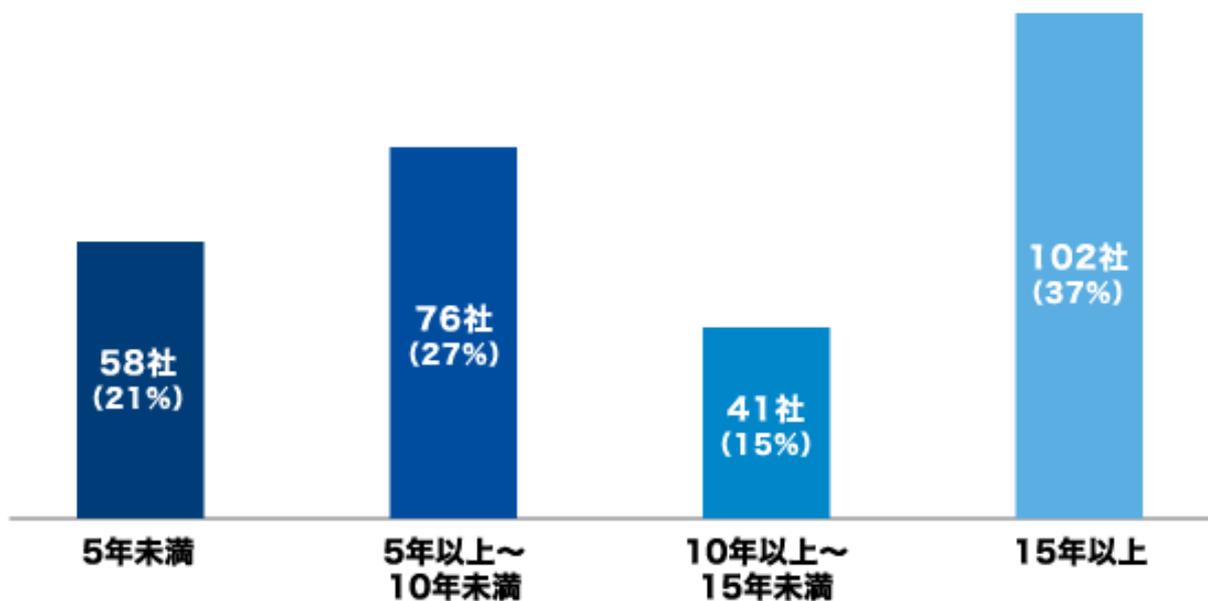
- 情報通信業と金融業の2業種合計で64%と、前回調査と変わらずこの2業種での利用が半数以上を占める結果となりました。
- 今回の調査で注目なのは、不動産業での利用が20%（56社）と、前回調査よりも9ポイント上昇している点で、クラウドファンディングをはじめとした不動産TECH（不動産×Technology）において、銀行APIの活用が進んでいることが読み取れる結果が出ています。

3. 接続企業の設立年数

2021年9月



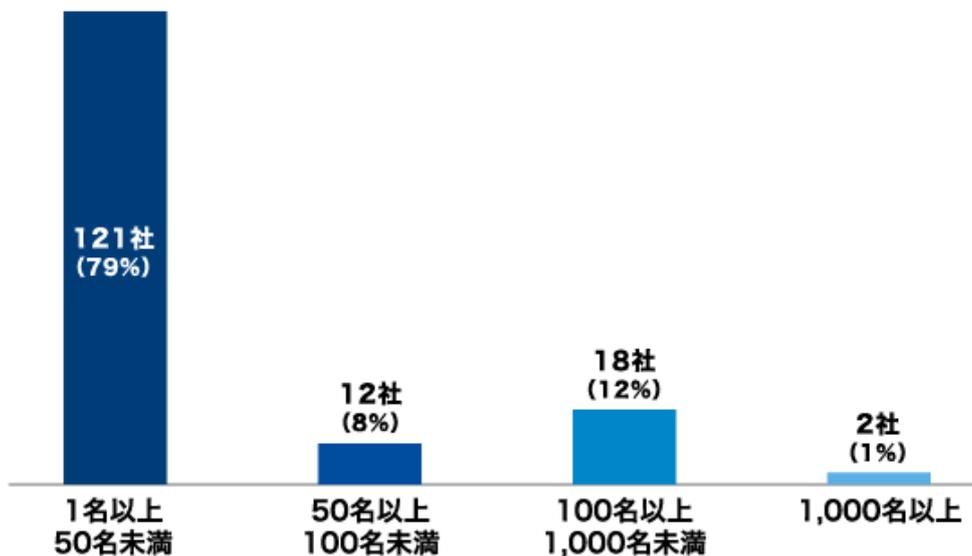
2024年3月



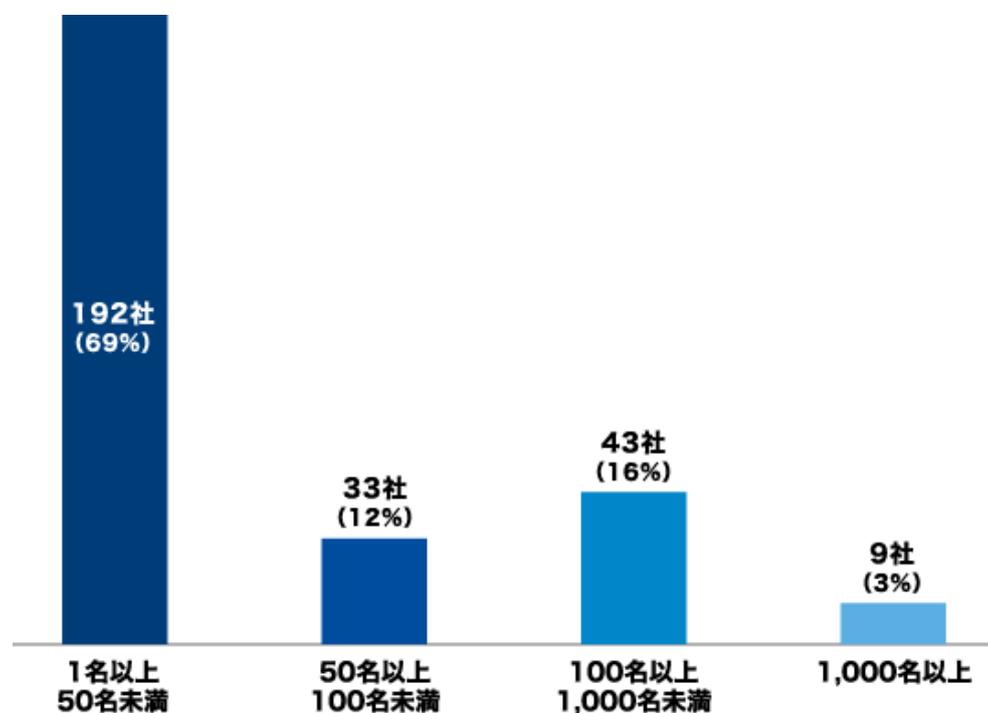
- 最も多かったのは、設立15年以上の102社（37%）で、次いで設立年数5年以上10年未満の76社（27%）、設立10年以上15年未満の企業は41社（15%）と、前回調査よりも社歴が長い企業さまでの利用が目立つ結果となりました。
- 設立5年未満の会社数（58社）に変化はありませんが、より設立年数の長い企業での利用が増加しているため設立5年未満の企業の割合は前回調査より、17ポイント低下という結果となりました。

4. 接続企業の従業員数

2021年9月



2024年3月



- 従業員数は、前回調査と変わらず 50 名未満が 192 社（69%）と最多で、そのほかの割合も大きく変化が見られない結果となりました。

5. 銀行 API の接続理由

2021 年 9 月

ご利用シーン	事業者がビジネスの効率化を 目的に利用	エンドユーザーが利用する サービスに組み込み利用	事業者の経理部門などが 振込・入金消込などの業務に利用
			
事例	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者サービスの利用料の振込・送金業務の効率化 ・成果報酬支払い ・サービス料受取クラウドファンディングにおける資金管理など 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮想通貨 ウォレットの即時入金 ・給与前払い ・融資金の即時支払い など 	<ul style="list-style-type: none"> ・経理担当者の請求書消込作業の自動化など
2021年9月末時点	56%	26%	18%



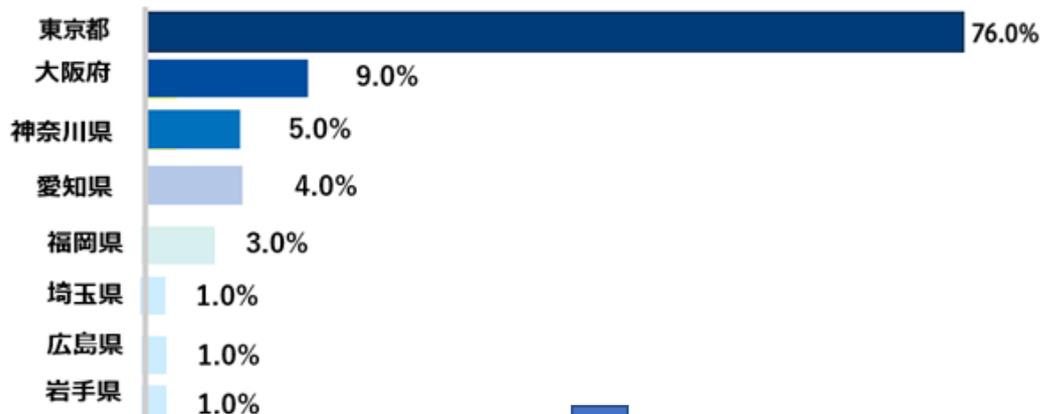
2024 年 3 月

ご利用シーン	事業者がビジネスの効率化を 目的に利用	エンドユーザーが利用する サービスに組み込み利用	事業者の経理部門などが 振込・入金消込などの業務に利用
			
事例	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者サービスの利用料の振込・送金業務の効率化 ・成果報酬支払い ・サービス料受取クラウドファンディングにおける資金管理など 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮想通貨 ウォレットの即時入金 ・給与前払い ・融資金の即時支払い など 	<ul style="list-style-type: none"> ・経理担当者の請求書消込作業の自動化など
2024年3月	62%	24%	14%

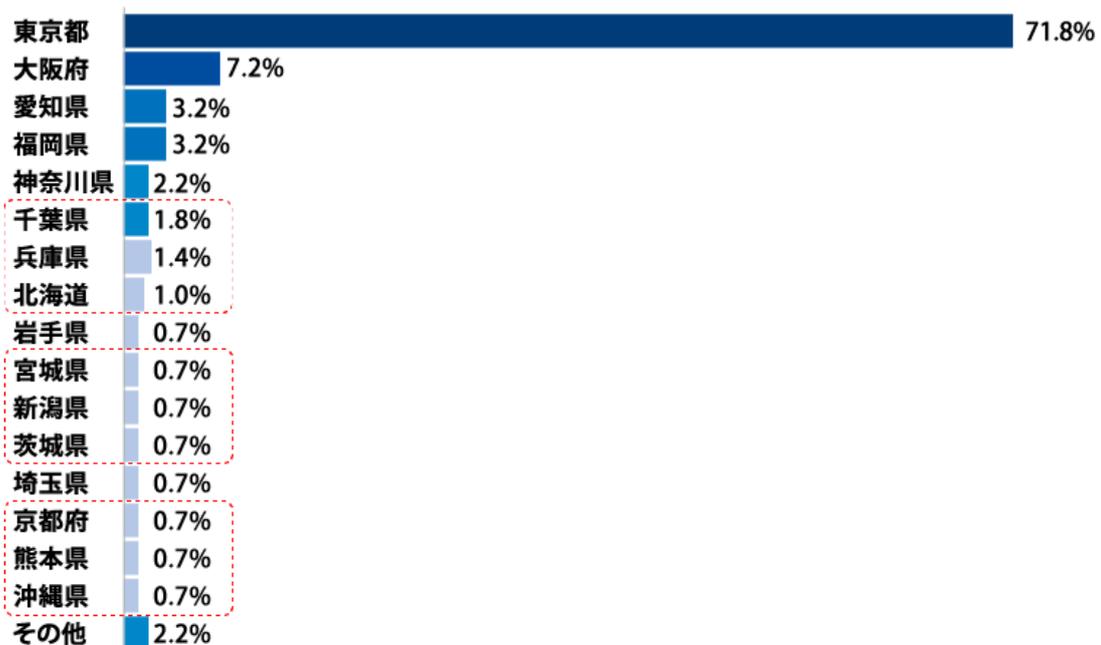
- 事業者がビジネスの効率化を目的に利用されている割合が 62%と、前回調査よりも 6 ポイント上昇した一方、経理部門での利用が 14%と前回調査よりも 4 ポイント低下する結果となりました。

6. 接続企業の所在地

2021年9月時点 銀行API接続先企業 所在地



2024年3月時点 銀行API接続先企業 所在地



- 前回調査では、東京都のほか、政令指定都市を中心に人口が多い地域でのご利用が目立っていましたが、今回の調査では、北海道から沖縄県とより広範囲での利用が確認できる結果となりました。

【GMO あおぞらネット銀行株式会社 会社概要】

本店：東京都渋谷区道玄坂 1-2-3 渋谷フクラス

代表者：代表取締役会長 金子 岳人、代表取締役社長 山根 武

資本金：241 億 2,996 万円

設立年月日：1994 年 2 月 28 日

URL：<https://gmo-aozora.com/>

以上